

【別添資料 1】

大井町図書館図書システム更新事業 仕様書

令和6年3月

大井町教育委員会生涯学習課

## 目次

1 事業の目的-----	1
2 作業範囲-----	1
3 大井町図書館及びそうわ会館について-----	1
4 スケジュール-----	2
5 図書システムの基本要件-----	2
6 現行システムのデータ等の移行-----	4
7 セキュリティ対策-----	4
8 データセンター要件-----	5
9 ネットワーク要件-----	5
10 ハードウェア・ソフトウェア要件-----	5
11 システム保守条件-----	7
12 契約終了時の作業について-----	9
13 その他-----	9

## 1 事業の目的

本事業は、令和6年9月30日に現行の図書館図書システムが契約満了となることから、新たにシステムを更新するものである。

今回の更新では、図書館事業をクラウド型で運用することとし、利用者への利便性の向上や情報提供の拡大を図る。

## 2 作業範囲

### (1) 図書システム導入時の作業範囲

- ①図書システムハードウェア・ソフトウェアの調達
- ②図書システムハードウェア・ソフトウェア導入作業（構築・設置・動作確認）
- ③データセンター環境構築作業
- ④ネットワーク環境構築作業
- ⑤図書システム構築作業
- ⑥ホームページ作成作業
- ⑦現行システムからのデータ移行作業（現行システムからの抽出作業は含まない）
- ⑧職員に対する導入支援、操作研修
- ⑨その他図書システム導入に必要な作業全般

### (2) システム稼働後の作業範囲

- ①稼働直後の現地立合い・運用支援
- ②図書システム保守業務（ハードウェア保守、ソフトウェア保守、運用保守）

### (3) 契約終了時（令和11年9月30日予定）の作業範囲

- ①本システムからのデータ抽出作業
- ②機器の記憶媒体の内容（データ）消去作業
- ③機器の撤去作業

## 3 大井町図書館及びそうわ会館について

### (1) 設置場所

- ・大井町図書館（神奈川県足柄上郡大井町金子1995）
- ・そうわ会館（神奈川県足柄上郡大井町山田502）

## (2) 大井町図書館の現在の状況

※数値は大井町図書館・そうわ会館の合計

データ種別	件数	備考
書誌情報	92,730 件	2022年度末 図書、雑誌、AV資料の合計（内容情報を含む） MARCは以下のデータを使用 ・TRCMARC（Tタイプ）
蔵書数	95,820 点	2024年1月末
年間受入点数	3,140 点	2022年度末
利用者数	5,260 人	2022年度末
年間貸出冊数	92,680 点	2022年度末
年間予約冊数	7,220 件	2022年度末

## 4 スケジュール

### (1) 図書システム更新スケジュール

- ①更新作業期間は、契約締結日から令和6年9月30日までとする。
- ②令和6年9月17日から令和6年9月30日までの間を休館とする予定のため、令和6年9月30日までにシステム構築に係る設置・データの登録等すべての作業を行い、稼働確認を完了すること。なお、システムの稼働予定は令和6年10月1日とする。

### (2) システム導入時の研修・稼働時立会いについて

- ①システム稼働時に図書館職員が円滑に業務を行えるよう、導入作業のための休館期間中にシステム研修を行うこと。
- ②研修時に必要となる資料（研修用マニュアル、操作説明書等）は、事前に職員数分用意すること。また別途電子データでも提供すること。
- ③本番稼働日から5日程度はシステム担当エンジニア（以下、「SE」という。）が現地にて立ち合い及び運用支援を行うこと。

## 5 図書システムの基本要件

### (1) システムの導入形態

サーバ等の機器は外部のデータセンターに設置するクラウド型とする。

### (2) 図書システム全体の基本要件

- ①図書館の通常の運用環境において、適切なレスポンス、処理時間を確保できるシステムであること。詳細についてはSLAに定めること。
- ②万一のサーバ障害やネットワーク障害時等においても、業務用端末単独で貸出・返却処理を行うことができるオフラインシステムがあること。また障害回復後、

各業務端末での処理データをサーバへ迅速に反映できること。

- ③基本的には標準機能で「大井町図書館図書システム機能仕様書兼回答書（別添資料3）」に適合可能なパッケージシステムであること。
- ④既に発売済みの製品であり、十分な稼動実績があること。
- ⑤年1回以上バージョンアップによる機能強化を行い、図書館にその内容を適用すること。また適用にかかる経費は今回見積金額に含まれること。

### （3） 提供する図書システム

- ①職員が使用する基幹業務システムは、図書館の内部業務全体を処理できるトータルシステムであること。
- ②現在の運用を継承できる機能を有するとともに、職員がスムーズに移行できる様、操作性の良いシステムであること。
- ③統計データについては年度統計、日本図書館協会への報告等、過年度の推移の把握に必要なため、現行システムと同等のレイアウト・内容で出力できること。
- ④館内で利用者自身が操作する利用者用端末システムを有すること。  
利用者用端末は、資料検索のみではなく、各種情報提供を行うことができること。また操作性を考慮し、タッチパネルの他、キーボードによる入力も可能なシステムであること。
- ⑤インターネットを介して資料検索及び情報提供を行う Web-OPAC システムを有すること。PC・タブレット、スマートフォン、携帯電話など、多彩な機器で快適に使用できること。

### （4） 図書館ホームページ

- ①図書館独自のホームページを CMS にて構築し、外部公開すること。  
ホームページと Web-OPAC システムがシームレスに連携することのできる CMS を採用すること。
- ②ホームページは JIS 規格ウェブコンテンツに準拠し「適合レベル A」以上を達成すること。
- ③利用者の端末機種やソフトの汎用性を配慮したページとすること。ブラウザ版で作成したページをモバイル端末（スマートフォンなど）向けにも提供可能なこと。
- ④一般用と子ども用のページを作成すること。
- ⑤ホームページで提供する内容は、現行ホームページの内容に準拠するが、利用者サービス向上のための機能があれば独自提案を行うものとする。
- ⑥図書館職員が、平易にホームページ更新作業及びメンテナンスが実施できること。
- ⑦お知らせ情報は公開予定時刻の登録ができ、予定時刻までは外部に情報が公開されない仕組みを用意すること。
- ⑧サイト内の新着情報、貸出ベスト、予約ベストは基幹業務システムと連動し、自動的に作成できること。

## 6 現行システムのデータ等の移行

### (1) 図書システムデータ

- ①現行システムのデータ抽出は、現行システム事業者が行い、本システム受注者へ提供するものとする。提供回数は、テスト及び本番を含め2回を想定している。本システム受注者は、このデータ及び現行システム事業者より提供された資料を利用して、必要に応じて加工・変換し、データ移行するものとする。
- ②現在稼働中の図書システムから抽出されたデータ（書誌情報、所蔵・発注情報、利用者情報、貸出情報、予約情報、統計情報、その他図書館が必要とするデータ）を全件、正確に新システムへ移行すること。
- ③新システム稼働後に、データ移行が不完全であることが判明した場合には、本システム受注者の責任により無償でデータの補完、復旧等を行うこと。

### (2) 図書館職員が管理する文書等のデータ

- ①現行システムサーバ上にある図書館職員が管理する文書等のデータ抽出は、現行システム事業者が行い、本システム受注者へ提供する。本システム受注者は、このデータを、構築するシステム環境にデータ移行を行うこと。

## 7 セキュリティ対策

本システムは個人情報を取り扱うことから、より高いレベルのセキュリティ対策が必要であるため、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、大井町個人情報保護条例施行規則及び情報セキュリティポリシー、その他関係法令を遵守すること。

また、個人情報の保護及び利用者が安心して図書館を利用できるよう、次の事項を確実に実施すること。

- ①コンピュータウイルスの侵入、感染に対する措置としてウイルス対策ソフトの導入を行うこと。
- ②利用者用端末はOS設定などを自由に変更できない制御及び使用後にハードディスクを復元するソフトウェアをインストールすること。
- ③図書システムの中で個人情報を保護するための制約を設けること。
  - ・貸出・返却等に必要な個人情報は最低限の情報とする。
  - ・個人の貸出記録は返却と同時に消去させる。
  - ・利用者用端末には利用者の個人情報を表示しない。
- ④外部ネットワークを利用した情報交換において、情報を盗聴、改ざん、誤った経路での通信、破壊等から保護するため情報交換の実施基準・手順を備えること。
- ⑤インターネットからアクセスされるサーバ領域には、利用者氏名、住所、電話番号、性別、電子メールアドレスなどの利用者の個人情報は一切保持しないこと。
- ⑦ドメインの登録・管理、サーバー証明書の更新・適用作業を行うこと。
- ⑧年1度以上のセキュリティパッチの適用を行うこと。

## 8 データセンター要件

### (1) データセンター要件

- ①クラウドサービスを提供するデータセンターは、日本国内とし、日本の国内法に準拠していること。
- ②クラウドサービスを提供するデータセンターはT i e r 3以上の基準を満たしており、建築基準法の新耐震基準に適合していること。
- ③停電・機器トラブル時における復旧体制を整え、バックアップ対策及びデータの損失・破壊の予防策を行うこと。
- ④3世代以上のバックアップを行うこと。

### (2) サーバ監視・運用

- ①サーバの死活監視を行うこと。
- ②障害検知時は、データセンターの保守員が直ちに対応できる体制を取り、極力システムを停止することのないように努めること。
- ③障害検知時は、通知及び報告を行うこと。
- ④利用状況について記録を保存すること。
- ⑤定型業務（各種メール送信、統計情報収集等）は、自動処理のスケジュールが設定できること。また自動処理のスケジュール（処理日、処理時間）は、随時変更可能であること。

## 9 ネットワーク要件

- ①データセンターと大井町図書館、そうわ会館でネットワークを構成すること。
- ②個人情報扱うことから、VPN環境の構築等、セキュリティに配慮した設計を行うこと。
- ③ユーザーサイドのレスポンス、セキュリティ対策等を考慮し、提案者が最適と考えるネットワークを選定すること。現在使用している回線を利用してもよい。
- ④大井町図書館及びそうわ会館内のLAN配線は、既存敷設回線を利用することを想定している。ただし、新システム導入にあたり、追加の配線が必要となった場合は本システム受注者が調達・設置すること。また、その経費を見積に含むこと。

## 10 ハードウェア・ソフトウェア要件

### (1) ハードウェア・ソフトウェア構成

図書システムが最適に動作するスペックで、かつ以下に示す条件を満たすハードウェア・ソフトウェアを準備すること。

項番	項目	数量	備考
1	業務用PC	5	WindowsOSのノートPCであること。
2	利用者用端末PC	3	WindowsOSであること。

項番	項目	数量	備考
3	タッチパネルモニタ	3	利用者用端末PCに接続。 抗菌対応モデルが望ましい。
4	バーコードリーダー	5	現在はスタンドを付属して定置式で使用。 同様の形式を希望。
5	レシートプリンタ	8	業務用PC、利用者用端末PCに接続。
6	A4 カラープリンタ	2	ハガキ～A4の各種用紙が印刷できること。
7	蔵書点検用機器	5	現在は業務用ノートPCでオンライン蔵書点検を実施している（期間中にPC2台を借用） 現行と同じ運用とする場合は、蔵書点検用機器は不要。 また蔵書点検用機器は常備不要のため、貸出対応でもよい。
8	ネットワーク機器	必要数	ファイアウォール、ルータ、ハブなど必要となるネットワーク機器全て（但し、データし経費に含まれるものは除く） ※参考（現在の数量） ファイアウォール：1台、ルータ：3台、ハブ：4台、蔵書点検用無線親機：2台
9	Office ソフトウェア	5	業務用PCに搭載。 月額契約の製品の場合、5年分のライセンス（更新ライセンス）を含むこと。
10	不正操作防止用ソフト	3	利用者用端末PCに搭載。 利用者の想定外の操作を防止、また操作された内容を自動的に復旧するためのソフトウェア。 ※設定の方式は問わない
11	ウイルス対策ソフトウェア（クライアント用）	8	全クライアントPCに搭載。 5年分のライセンス（更新ライセンス）を含むこと。
12	ウイルス対策ソフトウェア（サーバ用）	必要数	5年分のライセンス（更新ライセンス）を含むこと。 ※データセンターの費用含まれる場合は、別途購入は不要。その旨明記すること。
13	SSL ライセンス	必要数	5年分のライセンス（更新ライセンス）を含むこと。



項番	項目	数量	備考
			※データセンターの費用含まれる場合は、別途購入は不要。その旨明記すること。
14	図書システム・ 図書館ホームページ用 パッケージソフト ウェア	必要数	業務用端末(項番1)、利用者用端末(項番2)、蔵書点検用機器(項番7)の台数分の図書システムパッケージソフトウェア。 ホームページで蔵書検索等、図書システムと連携を行うためのパッケージソフトウェア。 図書館用ホームページ構築用のCMSソフトウェア。

## (2) 機器の設置

- ①業務用PC、利用者用端末PC及びその周辺機器、プリンタなど、大井町図書館・そうわ会館内に機器を設置すること。
- ②ネットワーク機器については、設定作業を行い、大井町図書館・そうわ会館内に必要数設置すること。
- ③全機器の設置後、正常に動作することを確認後、図書館に引き渡すこと。

## 1.1 システム保守条件

### (1) システム全体の保守条件

システム全体の保守条件は、以下の通りとする。

- ①本システムは24時間365日稼働するものとする。ただし、システムのメンテナンス等を実施する場合はこの限りでない。
- ②システムメンテナンスを実施するために一時的にシステムを停止する際は、事前に発注者の承諾を得ること。
- ③サポート体制は、今回提案のパッケージシステム開発元企業が直接行う体制を構築すること。
- ④ハードウェア・ソフトウェア等について、全て一括のコール窓口を設けて問合せの受付を行うこと。障害発生時は一括対応し、滞りなく各窓口へ連絡・作業指示を行える体制をとること。
- ⑤保守サービス受付は24時間、365日受付可能とし、SEのサポート時間は、平日の午前9時から午後5時までとする。ただし、緊急を要する障害対応についてはこの限りではない。
- ⑥休日・夜間なども含め異常発生時の早期復旧体制を整えること。

### (2) ハードウェア保守条件

ハードウェアの保守条件は、以下の通りとする。

機器の種類	区分	備考
サーバ	センター保守	データセンターにて監視を行い、障害検知時は、システムを停止することなく対応すること。 データ保全のため、定期的にバックアップを取得すること。
クライアントPC	現地出張対応	職員がPCにデータを保存することが考えられるため、現地で保守を行うこと（持出不可） 障害復旧後は、ソフトウェアのインストールなど使用可能な状態に復帰すること。
プリンタ	現地出張対応	
タッチパネル	センドバック可	
バーコードリーダー	予備機可	
レシートプリンタ	予備機可	
ネットワーク機器	予備機可	図書館内のネットワーク機器は予備機可。 データセンター内の機器は、データセンターにて監視を行い、障害検知時は、システムを停止することなく対応すること。

※センドバック可：出張対応が望ましいが、センドバック保守も認める機器。

但し、保守期間中は代替機を提供すること。

（代替機貸出費用も保守費用に含むこと）

※予備機可：出張対応もしくはセンドバック保守が望ましいが、予備機による対応も認める機器。但し、予備機にはあらかじめ設定を組み込み、職員が機器を交換するだけで使用できる状態で提供すること。また予備機の数量を明確にすること。

### (3) ソフトウェア保守条件

ソフトウェアの保守条件は、以下の通りとする。

- ①導入するソフトウェアを5年間使用し更新をすること。
- ②OS、ソフトウェア等の機能改善、不具合修正を継続的に行うこと。
- ③提供する図書システムパッケージに不具合が発生した場合の調査・対策をすること。
- ④図書システムパッケージのバージョンアップ情報及びプログラムの提供をすること。
- ⑤提供する図書システムパッケージのバージョンアップ版プログラムの適用をすること。

#### (4) SEによる運用サポート保守内容

SEによる運用サポート保守内容を、以下に示す。

- ①通常運用時の稼働支援、不具合対応、バージョンアップ作業等、図書システムを円滑に運用するための運用サポートを行うこと。
- ②通常の対応はリモートによる対応も可とするが、図書館が要望する場合、SEが図書館に来館し、直接対応を行うこと。
- ③メール、電話等による問合せ対応は、図書館の開館時間中は随時受付を行うこと。
- ④図書館サービス利用に必要なマニュアルを整えること。
- ⑤バージョンアップ版プログラムの適用など、システムの機能・内容に変更が生じた場合は操作説明書等の資料を提供するとともに、必要に応じて職員研修を実施すること。
- ⑥運用サポートについては、初年度だけではなく、5年間同等の対応を継続すること。

#### 1.2 契約終了時（令和11年9月30日予定）の作業について

##### (1) 契約終了時のデータ抽出

- ①本システムの契約満了時は、本システム受注者がシステムからのデータ抽出作業を行うものとし、その費用も本事業に含めること。
- ②抽出データはシステムに格納された全てのデータを対象とし、次回更新するシステムがいずれであってもデータ移行できるよう、再取り込みが容易なCSV形式等でデータを抽出すること。
- ③データ抽出回数は2回（テスト・本番）とすること。

##### (2) 契約終了時の物品の取扱い

- ①契約終了時は、機器の記憶媒体の内容（データ）を完全に消去し、データ消去証明書を発行すること。
- ②契約終了時のデータ消去及び機器撤去費用も本事業に含めること。

#### 1.3 その他

##### (1) 導入物品の梱包材などについて

導入物品の梱包材などは、本システム受注者が納品後速やかに引き取ること。